

9月26日（月）「今日から読書旬間です」

元気よく朝の挨拶をしましょう。おはようございます。



暑さ寒さも「彼岸」までと言います。「彼岸」とは9月20日頃のことですので、ちょうど今頃です。そういえば最近めっきり涼しくなりましたね。

さて、今、お家にいると思ってください。今から自由に使える1時間があったら、何をしますか？

先日、ある時計の会社が、4・5・6年生に調査した結果では、34%の人が「ゲーム」と答えました。「友達と遊ぶ」が23%、「読書をする」が8%で、読書をする人はとても少ないという結果でした。

読書が嫌いという人の中には、「読まず嫌い」の人もいると思います。ちょっと読書は苦手だなと思って、はじめから本を手にとらない人のことです。本当は楽しかったり、感動して泣けてしまったりするような、ちょっとでも読み始めるとやめられなくなってしまうような本がたくさんあります。

だから読書は、「頭と心の栄養」と言われるのですね。私たちは、本を読むことによって、いろいろな知識を身につけて物知りになります。

でも、読書というのは、頭が良くなるだけでなく、心も成長させてくれます。楽しい本を読んだり、嬉しい本を読んだりすると、私たちも楽しさや嬉しさを味わうことができます。逆に、悲しい本を読むと、悲しみが分かるようになります。そして、心温まるお話を読むと、優しい気持ちになります。このように、私たちはいろいろな本に出会うことによって、いろいろな心や気持ちの体験をして、喜びや悲しみ、優しさなどが分かる人になっていくのです。

さて今日から読書旬間が始まります。本が好きな人もあまり読まない人も、いい本と出会えるように、たくさんの本を読んでみてください。

読書の効果としては、

- ①使える言葉が多くなる
- ②集中力がつく
- ③想像力、感受性が豊かになる
- ④ストレスの解消ができる
- ⑤人の気持ちが分かるようになる・・・

など、数多くの効果があるそうです。

読書旬間中は、図書委員会のみなさんが「読書郵便」や「読書おみくじ」などを計画してくれています。いい本を見つけたら、校長先生にも教えてくださいね。楽しみに待っています。

それでは以上で全校朝会のお話を終わります。（礼）

